

* 3 人体研究を基にしたる衣服の造型美について 衣服構成の機能的考察（第2報）

京都女子大学 観月サチヨ

○中岡 花子

勝谷 弥生

衣服構成に於いて最も要求されるものは、機能性と美である。立体構成に於ける衣服の造型美を検討するに先立ち、その基礎となる身体の動きに順応する衣服の機能的考察を基にして造型美を打ち立てるべきとの考えから、機能的構成の問題を検討した。

先に関西支部会に於いて腋下の襞について述べたので、今回は肩関節に於ける動きの角度を測定し、肩峰を基準とした袖山の高さを検討して、別袖の山の高さや袖付のカーブ線の考察を行い、併せて上体前屈に際しての背部の伸びと袖付の関係を検討したのでその結果を報告する。